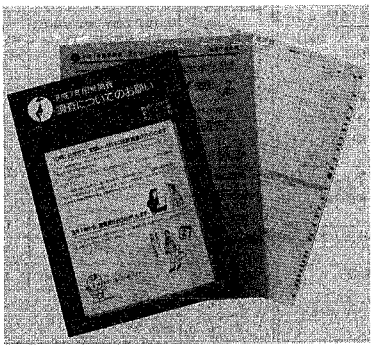
21世紀社会の基礎資料に
10月1日に国勢調査実施

十月一日、全国一斉に国勢調査が行われます。国勢調査は、大正九年から五年ごとに行われ、今回は十六回目。日本に住んでいるすべての人が対象となり、全国で四千四百万世帯、約一億二千五百万人と見込まれています。

本市でも約四十八万五千人の皆さんが調査の対象となります。市では三千二百人余りの調査員を配置し、一人の漏れもなく調査ができるように準備を進めています。


調査票は調査員がお届けします

九月二十三日から三十日までに、調査員が皆さんのお宅に調査票をお届けします。

十月一日時点の状況を記入してください。十月八日までに回収に伺います。

プライバシーは守られます

記入した内容をほかに漏らしたり、統計以外の目的に使用することは法律で禁じられています。また、調査票は外部の人の目に触れないよう厳重に保管され、集計完了後は処分します。

暮らしに生かされます

調査結果

国勢調査は、法律に基づいて国が行う調査です。調査の目的は、わが国の人口を正確に把握するほか、急ピッチで進行する高齢化、国際化の状況など、日本の現在の姿を正確に知ることにあります。

調査の結果は、これからの社会に適応した政策や行政を考えていく大切な資料となり私たちの暮らしのさまざまな分野で生かされていきます。

調査項目は、家族全員の氏名・性別・生年月日・就業・通学状況など全部で十七項目です。

調査票は折らないで

調査票はマークシート方式。質問事項には黒鉛筆でマークするようになっています。そのまま光学式マーク読取装置という機械にかけるため汚したり、折ったり、丸めたりしないようお願いします。

記入に当たっては、調査票と一緒にお渡しする「調査票の記入のしかた」をご覧の上、正確に記入されるようお願いします。

問い合わせ　国勢調査新潟市実施推進本部（総務課内☎226－3441）へ

祖父母が伝える 太平洋戦争展⑤

亡き戦友をしのぶ

石川正輔さん（71、寺尾上3）

「これが二十一歳の時の私の青春です」とタイでの抑留中に作った竹包や扇子、茶碗などを見ながら、いがある。

石川さんは当時を思い出す。これらには、若くして亡くなった戦友に対する思

二十歳で新発田の十六連隊に入隊した石川さんは、三カ月後には中国の鎮江（チンコウ）に送られた。「当時は負け戦さが続いていて、訓練する時間などなかった」と話す。

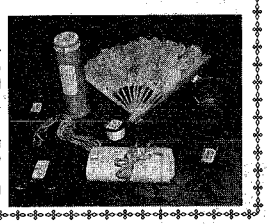
激戦地ビルマ（ミャンマー）へ向かう援軍として、一時ベトナムのハノイに集結することになるが、道のりは厳しいものとなる。「当時は兵隊が少ないため、普通であれば体力がなく入隊できない人も入隊させられた」。そのためハノイに向かった三百四十人のうち体力がなく倒れる人や、マラリアなどの病気で亡くなる人も出て、残ったのは百人にも満たなかったそうだ。

いつ敵に襲われるか分からない中、亡くなった戦友の体を焼く時間もなく、切り取った小指を焼いたものと、本人の認識証とともに袋に入れ持ち帰った。

石川さんの隊は、ハノイで態勢を整え、これからビルマに乗り込もうとした矢先に、終戦を迎える。その後、タイのナコンナヨークに抑留されることになる。

現在、石川さんは四人のお孫さんがいる。自分が「おじいちゃん」と言われることに幸せを感じるが、戦死した人はその幸せを知らないと思うと悲しくなるという。「平和になればなるほど若くして亡くなった人たちのことが、忘れ去られて行く。戦争についての説明はいろいろあるが、このような人たちのことを、日ごろ私たちが若い人たちに伝えていかなければならない」と語っていました。

（おわり）


タイでの抑留中に作った物

市美術館 郷土作家シリーズ

倉石隆展を開催中

市美術館では、県内ゆかりの作家を紹介する郷土作家シリーズとして「倉石隆展」を、十月二十二日まで開催しています。

倉石隆さんは、高田市（現上越市）に生まれ、現在は個展での作品発表のほか、世界文学全集の挿絵や絵本の制作に携わっています。

（掲載作品は「月の光」）

期間中は、講演会「倉石隆を語る」を十月十五日午後二時、作品鑑賞会をきょう十七日から十月二十二日まで毎週日曜日（十月十五日は除く）午後二時から行います。

開館時間　午前九時から午後四時半まで（月曜休館だし、十月九日は開館）

観覧料　七百円（大・高生六百円、小・中学生五百円）

問い合わせ　同館（☎223－1622）へ

ごみ減量化に効果
コンポストを減額販売

市では、ごみ減量化を図るため、家庭から出る生ごみをたい肥にするコンポストを減額販売します。コンポストとは底のないポリバケツ状のもの。生ごみを入れると中で発酵し、下の方から徐々にたい肥になっていきます。

今年で四年目を迎えたコンポスト減額販売。これまでに約八千三百基が利用されています。これによりたい肥化される生ごみは年間で約千七十㌧。これをごみ収集車に換算すると年間四百六十五台分の生ごみが減量されることになります。

ごみの減量化に大きな効果を発揮するコンポスト。この機会にご活用ください。

容量　百三十㍑（底面の直径約六十㌢）

価格　一基二千円

申し込み　十月六日（消印有効）までにはがきに住所、氏名、電話番号を記入し、清掃課（学校町通一－六〇二－一）☎内線2765）へ

暮らしのガイド
全家庭に配布

市民生活に関係の深い市の仕事や施設、窓口の案内などを紹介した「にいがた暮らしのガイド」が完成、七日までに全世帯に配布しました。市役所、市民課窓口、地区事務所、連絡所にも置いてありますので、ご活用ください。

問い合わせ　広報課（☎内線2143番）へ

コスポッポ親子遊戯教室

日時　9月21日から来年3月21日毎月第3木曜日午前10時～11時半
会場　西総合スポーツセンター
対象　幼児と母親
内容　リズム体操と遊戯、器具を使った遊び、ゲーム、ほか
参加費　大人入場料1回150円
持ち物　運動着、屋内運動靴
申し込み　毎回直接会場へ
問い合わせ　会場（☎268-6400）へ

子どものための
ヘルシークッキング

日時　9月27日午前10時～午後零時半
会場　北地区公民館
内容　子どもの成長に必要な食物について、運動も忘れずに、調理実習、ほか
定員　先着30人　**参加費**　300円
申し込み　会場（☎259-7330）へ

クイズラリー'95

日時　9月23日午後1時～3時半
集合場所　市役所本館正面前
対象　中学生、高校生2人1組先着60組
内容　コースにあるクイズなどをクリアする　**参加費**　1人150円
申し込み　万代市民会館・青年の家（☎246-7711）へ

児童センター

問い合わせ　同センター（万代市民会館内☎246-7711）へ　※月曜休館、10月14日は晴天の場合屋外事業のため休館。

◉**バドミントン大会**
日時　10月7日午後1時半～4時
対象　サーブのできる小学生先着16人
申し込み　電話で会場へ

◉**おはなしの部屋**
日時　10月15日午後2時～2時45分
対象　幼児（保護者同伴）～小学生
申し込み　当日直接会場へ

◉**工作教室「グライダーを作って飛ばそう」**
日時　10月28日午後1時半～3時半
対象　小学生先着18人　**参加費**　230円
申し込み　電話で会場へ

◉**親子のつどい**
日時　10月の毎週金曜日午前10時半～11時半　**内容**　風船、マット遊び、ほか
対象　入園前の乳幼児と保護者
申し込み　当日直接会場へ

坂井輪地区ペタンク講習会

日時　10月8日午前10時～正午
会場　西総合スポーツセンター
対象　小学生以上　**参加費**　1人100円
申し込み　10月5日までに体育課（☎内線3276番）へ

内野再発見歩こう会

日時　10月1日午前9時～午後3時
内容　内野町など西地区の史跡巡り
定員　先着30人
申し込み　西地区公民館（☎261-0031）へ

初心者 大正琴教室

日時　9月22日～11月24日第2・4金曜日午後1時～2時半
会場　曽野木地区公民館
定員　先着15人　※大正琴あり
申し込み　会場（☎280-6810）へ

国土基本図 地形測量にご協力を

市と県では、本市の国土基本図（2500分の1）の修正を行っています。現地測量の際に県知事発行の「身分証明書」を携帯した測量従事者が、皆さんの敷地内に入ることもあります。ご協力をお願いします。

問い合わせ　市都市計画課（☎内線2806番）、県都市計画課（☎285-5511）へ

市民大茶会

日時　10月1日午前10時～午後4時
会場　白山公園、市民プラザ、万代市民会館など17カ所（57席）
茶券　3席1,500円で百貨店などで発売中
問い合わせ　乙川さん（☎233-1031）へ

文芸にいがた第15号
申し込みは18日から

市民の文芸作品を発表する「文芸にいがた」第15号を12月下旬に刊行します。

価格　1,300円程度
申込期間　9月18日～10月31日
引渡期間　12月下旬～来年1月31日
引渡方法　中央公民館または地区公民館で現金引き渡し
申し込み　はがきまたは申込書に住所、氏名、電話番号、冊数、受取希望場所を記入し、中央公民館（西堀通6-873-1☎223-7070）または地区公民館へ

今週の広報テレビ

9月17日
- **さわやか新潟**
「我ら元気なシルバーエイジ」
BSN第1・3日曜7:15～7:30
- **にいがた子どもの広場**
「祖父母と楽しいゲーム～松の実保育園」
NT21　毎週日曜17:55～18:00
- **にいがた**　「ボランティアでいきいき人生」
ケーブルネット新潟　毎週日曜9:30～10:30、月曜9:00～9:30、ほか
※加入希望者は☎247-4100へ

9月23日
- **新潟市政ニュース**
NST　毎週土曜10:55～11:00

この市報は再生紙（古紙70%混入）を使用しています。